

企業情報

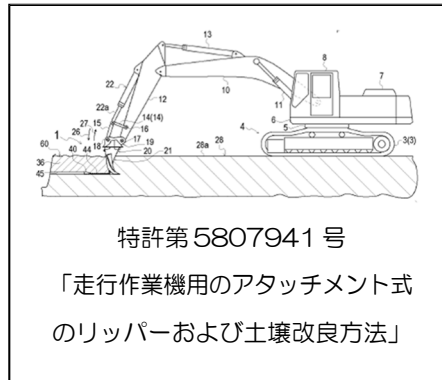
輝喜重機

所在地	沖縄県国頭郡東村		
ホームページ URL	http://teruyoshi.com/		
設立年	2012 年	業 種	土木サービス業
従業員数	2 人	資本金	—

企業概要

当方は、土木工事用走行作業機と独自に開発した多数のアタッチメントを用い、農業者と緊密に連携しながら、地域農産物に最適な土壌改良の研究を続けてきました。

今までに数々の特許、意匠登録等の出願を行っていますが、特許を取得したアタッチメント式リッパー及び土壌改良法(特許第 5807941 号)は、サトウキビ栽培農家・自治体から高い評価を得て、多くの工事依頼を受けております。また、新たに開発したパイナップル畑用アタッチメントは従来作業を大幅に軽減すると同時に、栽培に適した土起こしができると期待されています。



自社の強み

当方の強みは、農業者との日々の会話の中から得られた情報をもとに、農作業の効率化及び作物に適した土壌作りの方法について、重機の専門家の立場から検討を行い、農業者の意図する作業と土質を実現してきた農業への強い思いと実行力です。

サトウキビ栽培地域の土質に合わせた各種形状のリッパー(意匠登録第 1559593~1559596)、パイナップル農家にとっては大幅な作業効率 UP と品質向上が図れるバケット(意匠登録出願中)などは、農業者との連携の賜物です。



一押し商品

当方のフィールドリッパーなら、以下のメリットがあります。

- ・深さ 70cm の溝がドンドン掘れる
- ・一般的に 1 週間かかる工事が、数日で終わる
- ・工期短縮により、コスト削減につながる 土壌に新鮮な空気を送り、農地を甦らせます。また、水道管の埋設工事などにも活用いただけます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

相談者との出会いは、東村商工会の経営指導員から「土木工事用走行作業機と独自開発したアタッチメントを使って地域農業に大きく貢献している事業者がいるが、特許取得できないか」と連絡があり、早速相談者を訪問して開発品を見取ったことがきっかけです。

最初の相談概要

検討されている特許出願内容は、沖縄県で広く栽培されているサトウキビ畑の土壌改良方法に関するもので、長年のサトウキビの大規模栽培により岩盤化した畑を深く掘り起こし、新鮮な空気と水を供給して甦らせる技術でありました。これを受け、知財制度をご説明し、また先行技術調査の支援により特許の可能性が認められたため、当窓口の専門家(弁理士)を派遣しました。

その後、この技術は特許を取得し、現在県内の多くの自治体より工事依頼を受けており、また、外国からも引き合いが来ています。

その後の相談概要

本件技術の重要な要素として、リッパーにより形成される溝と同時に弾丸により形成される空洞(暗渠)があります。従来の技術では、溝は畑の法面から形成できるが、空洞は法面から離れた場所から形成されるようになっていたので、その欠点を解消する技術の特許出願する(特開 2017-141656)とともに、地域の土質に応じたリッパーの形状について複数意匠登録出願しました(意匠登録第 1559593~1559596)。

また、相談者は引き続き、地域特産のパイナップルの生産農家にとり、労働力の大幅削減と良質な土壌改良を可能にする新たなアタッチメント(バケット)の開発を進めており、意匠登録出願と同時に早速現場での活躍を始めるなど、地域農業に広く貢献しています。

窓口を活用して変わったところ

相談者はアイデアマンとして地域でよく知られた人ですが、知財活用の知識は乏しかったと思われます。東村商工会の経営指導員による発明の掘り起こしと知財専門家、窓口支援担当の連携により、特許権、意匠権の取得と順調に権利化が進み、いよいよ知財を活かした事業拡大が始まりつつあります。アイデアマンとしての特質はそのまま、知財経営を意識するようになり、今後の発展が大いに期待できます。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

農業経営者は、農作物の品質向上、労力削減等のため、独自の栽培ノウハウ、画期的な管理方法、それらを実施していくための装置、機械、器具等を日々工夫開発していると聞きます。これらの知財に関わる情報をオープンにするのかクローズにするのかを含めて、日頃から知財について関心を持つことが必要であると思います。

窓口担当者から一言 (氏名: 本藤 勉)



今までは比較的限定された地域の農業者から感謝される事業者でしたが、いよいよその地域が広がり始めているようです。その要望にもこれからは応じていく必要があり、当窓口も引き続き支援させていただく所存です。